

第3回 みどりのまちづくり賞

OSAKA LANDSCAPE AWARD

大阪ランドスケープ賞

作品集

主催

大阪府

公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会
一般社団法人ランドスケープコンサルタンツ協会関西支部

大阪府では“美しく季節感のあるみどりの中で、人と人、人と自然のつながりが生まれ、さわやかな風を感じる快適なまち”「みどりの風を感じる大都市・大阪」の実現を目指しています。

この目標を実現するためには、大阪で活躍されている府民の皆様や企業の皆様と、行政とが一体となって取り組む必要があります。大阪府では、住宅や企業敷地などの民有地と、道路などの公共施設が一体となって美しい緑化がなされると、相乗的により美しく快適なまちづくりができることに着目しています。このようなセミパブリック空間を多く生み出し、みどりで魅力的にしていくこと、さらにそれらを実現する過程をとおして多くの人々がつながり、笑顔になることが大切だと考えています。

この賞は、みどりのまちづくりに貢献する“まちが美しくなるみどりづくり”“まちが笑顔になるみどりづくり”に取り組まれた方々を表彰し、こうした取り組みが大阪府全体に広がっていくことで、「みどりの風を感じる大都市・大阪」が実現されることを目的とします。

総 評

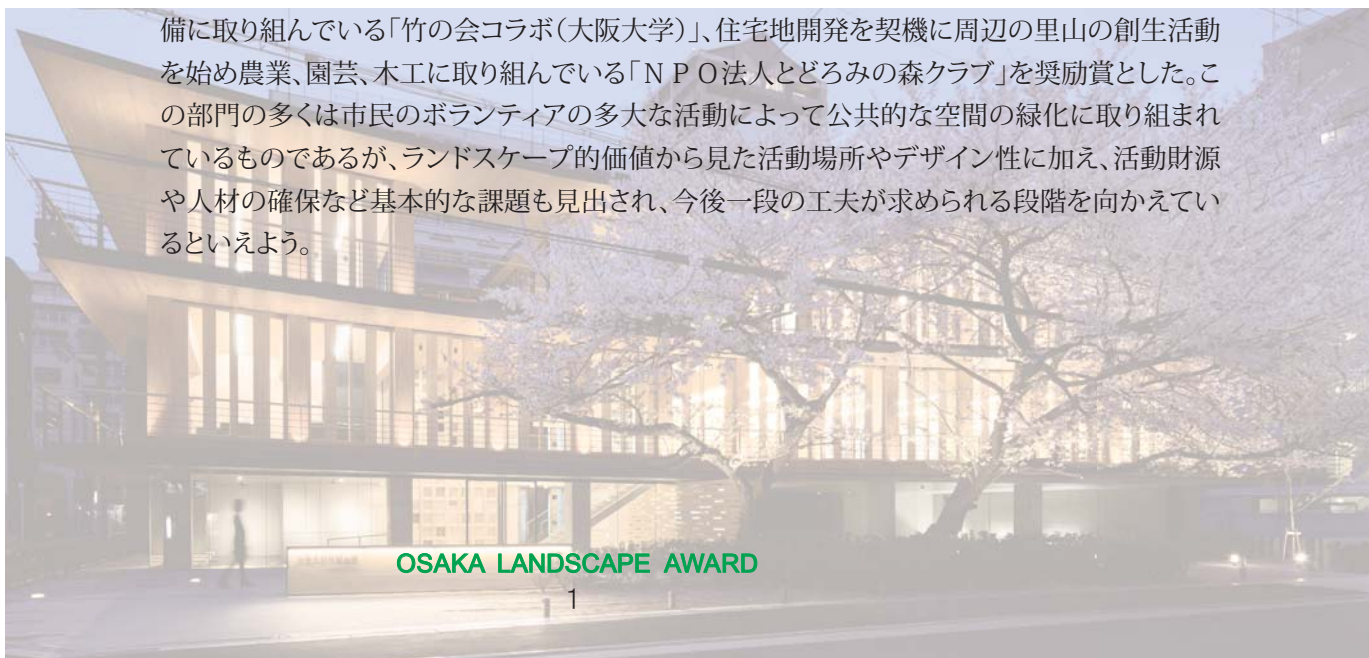


審査委員長
増田 昇

本年はデザイン部門17件、マネジメント部門10件と応募数は若干少なかったものの、デザイン部門では、集合住宅や公共施設、教育施設に加え、商業ビルや飲食店舗、企業の本社ビルや工場など多様性に富むとともにグレードの高い物件も数多く含まれており、企業活動においてランドスケープの重要性が認識されつつあるといえよう。また、住宅の販売戦略等に本賞の受賞を有効に活用したいといった声も聞かれ、本賞の社会的意義を広めるためにも、竣工後1年以上経過した物件という条件を本年から緩和した。

書類選考による1次審査では、デザイン部門11件、マネジメント部門6件を2次審査の対象として選出した。現地調査を通じた2次審査の結果、デザイン部門では、建て替え時に2本の桜の古樹を巧みに取り込み街並みの主景へと転換させた「大阪木材仲買会館」、主たる緑化スペースを街に開放し潤いのある風景を生み出すとともに小空間を巧みにデザインしている「ブランズシティ都島友渕町」、広大な工場敷地のゲート空間に地域の里山をモデルとしたビオトープ空間を生み出し、地域性と先進性を融合させた「小松製作所大阪工場コマツ里山」を3賞とした。また、メダカの棲む小さなビオトープと防災拠点を本社ビルの前庭に創出した「パナホーム『つながりのひろば』」と木賃アパートの並ぶ下町にオシャレで心地よい風景を生み出した「ガーデンプレイス鶴見」を奨励賞とした。

マネジメント部門は3賞の該当物件は無かったが、府営の寝屋川緑地で花壇の手入れをボランティアで行っている「寝屋川公園はなかずき」、大学の共通教育のカリキュラムに組み込み学生と周辺自治会を中心とした「竹の会」のメンバーとの協働によってキャンパス内の竹林整備に取り組んでいる「竹の会コラボ(大阪大学)」、住宅地開発を契機に周辺の里山の創生活動を始め農業、園芸、木工に取り組んでいる「NPO法人とどろみの森クラブ」を奨励賞とした。この部門の多くは市民のボランティアの多大な活動によって公共的な空間の緑化に取り組まれているものであるが、ランドスケープ的価値から見た活動場所やデザイン性に加え、活動財源や人材の確保など基本的な課題も見出され、今後一段の工夫が求められる段階を向かえているといえよう。



大阪木材仲買会館

所在地:大阪市西区南堀江

事業者 大阪木材仲買協同組合
設計者 (株)竹中工務店
施行者 (株)竹中工務店

組合会館の建て替えに際して、旧会館の新築時に植樹され、樹齢65年を超えて地域の人々に親しまれている桜の既存樹2本を保存しながら、新たに緑地を作り出すのではなく、今まであったものを生かして都市部で木をふんだんに用いた建物と一体となる、「都市の中の森」ともよべる緑地を計画しました。既存の桜を囲むように緩やかに曲線をもった建物形状

とすることで、桜の木と建物が都市の風景として表出し、また適度な距離を設けることで樹影の冷却効果を利用する配置計画としています。桜の樹齢を考慮して、地域に愛されてきた都市の風景を今後も継承していくために、次の世代の桜の植樹も行っています。



講評

本件は、旧会館の新築時に植栽された樹齢65年を超える桜の既存樹2本を保存しながら、会館の建て替えによって新たなランドスケープが生み出された優れたデザイン事例である。建物の形状は、既存の桜を保存するために桜を囲むように緩やかな曲線をもったものとなり、桜を主景とするためのサイトプラン(地割り)が特に優れている。その結果、「国内材」をふんだんに使った建物と一体となり、木のぬくもりと自然が感じられる「都市の中の森」とも呼べる魅力的なランドスケープが創出されている。また、風景の継承を意図した次世代の桜の植栽や既存樹の足元まわりのディテールも素晴らしい。オフィスなどの内部居室からは何処からも桜が眺められ、室内を全面的に構成する木のぬくもりとともに屋内空間が非常に快適で落ち着いた空間となっている。一方、街からは、2,3階に設けられている大きな出の木による軒と2本の桜によって、建物と街との間に適度な距離感が生み出され、都市の中に魅力的なランドスケープを楽しめる中間領域が生み出されている。(審査委員長 増田昇)

小松製作所大阪工場 コマツ里山

所在地:枚方市上野

工場敷地内の集約建て替えに伴う緑地の形成に際して、企業の環境方針である「生物多様性の向上」を具現化するものとして、地域の里山緑地環境の再現を整備コンセプトとしています。里山林づくりでは、あたかも「地域の里山環境を切り取って持ってきたような」緑地づくりのために、目標となる里山林を定めて種組成や林内環境の調査を行い、生態系及

び景観の再現に努めました。また施工時には、落葉層・土壌の撒き出し、水田土壌の利用、草地・草本移植などの取り組みを行い、竣工後はモニタリング調査により環境の変化を把握するとともに、環境の変化に対応可能な順応性の高い維持管理を行っています。

事業主 株式会社 小松製作所 大阪工場
設計者 株式会社 ランドスケープデザイン 関西支社
株式会社 地域環境計画
施工者 鹿島建設 株式会社 関西支店・西武造園 株式会社



撮影:福澤昭嘉

講評

本物件は、工場施設の集約化に伴い生じた空地进行、「生物多様性の向上」という事業主の環境方針に基づいて、地域の生態系ネットワークに配慮した本格的な里山空間に再現しようとしている好事例である。

地域の里山に出来るだけ近づけるため、目標となる里山の調査を行い、計画が立てられた。施工時には地域の山や野原、水田などから表土や植物を採取して活用されている。また植栽樹木も人の手を加えて整形したものではなく、自然な樹形のものを選別され植えられている。管理についても、長期的な視野のもと専門家がモニタリングを行い、残すものと抑制するものを選別、対処していくとすることで、作ったあとの体制までしっかり整えられ万全である。設計者・生物系コンサルタント・施工者が目標やイメージを共有しながらうまく連携し、高い質を追求してつくられていることは高く評価できる。

今年まだ出来たばかりであるが、既に野鳥なども飛来しており、地域の生態系にしっかりなじみ始めていることがよくわかる。今後さらにどんな多様な生き物がやってくるかが楽しみであり、地域の重要なビオトープネットワークを担う拠点として役割が大いに期待できる。

(審査委員 内 匡)

フランチシティ都島友渚町

所在地:大阪市都島区友渚町

"TSUNAGU(つなぐ)"をコンセプトワードとして、都市と住宅、内と外、人と自然、様々な対照的なものをつなぐインターフェースになる風景の創造を試みています。道路に面したプレイロット(自主管理公園)は、地域に開放されるとともに住宅にとってはプライベートな前庭となる空間です。随所に設置されたベンチやプランターが休憩や談笑のきっかけとなり人々のコミュニケーションを誘発します。敷地内の多種多様な植物は、日常では気付かない自然の息吹に触れる機会を創出してくれます。一つ一つの小さな緑空間を束ね合わせるにより、景観的・機能的に豊かなランドスケープの創造を目指しています。

事業主 東急不動産 株式会社
伊藤忠都市開発 株式会社
設計者 株式会社 IAO竹田設計
鳳コンサルタント 株式会社 環境デザイン研究所
施工者 株式会社 長谷工コーポレーション

講評

地下鉄都島駅から北へ歩いて15分程の緑溢れるベル・パークシティの北東に位置し、第一印象は、子供達が岩山やプレイロットで走り回る姿に集合住宅の入口を感じさせないエントランス「表の庭」に驚かされた。

南側の低い植栽帯から東側道路沿いの桜並木、建物を低くした「共用棟」前の街の遊び場の一部の様な狭さを感じさせない「表の庭」。「共用棟」に向かって左側に遊び場、右側に車寄せと東側に駐車場入口を配置して動線も明快である。道路側から低い「緑のマウンド」を建物に平行して交互に南北に配置し、狭さを感じさせない、適度に「共用棟」を見せる「見え隠れ」の配置が街並を豊かにしている。

ロビーからは東側に低い「緑のマウンド」の向こうに遊び場、西側「奥の庭」の水景が心地よく迎えてくれる。居住者のための様々な施設配置がされ、駐輪場、駐車場周りに季節の移り変りを楽しめる「四季の径/彩の路」、西側ベル・パークシティの境界側に「ドンダリの路」の通学路、駐輪場壁面を緑化等々細かい配慮が随所にされており心地良い。住まわれている方々が挨拶の言葉を掛け合い、住環境の良さを感じることが出来た。この賞の選考主旨は、ランドスケープに関する技術ならびにアイデア・デザインとして注目すべき点を有しており、緑豊かで快適な地域景観づくりに特に寄与しているもの。審査の視点は、空間の美しさに特に優れた案件で、コンセプトにされた「つなぐ」内容と現地でそのことを確認することが出来、高く評価されました。今後の維持管理によりさらに魅力ある集合住宅になることを期待している。

(審査委員 福原成雄)



ボランティアによる公園内の花だんの手入れ (寝屋川公園はなかずき)

所在地:寝屋川市寝屋川公園
活動者 寝屋川公園はなかずき

「寝屋川公園はなかずき」は、公園が主催する「花の楽校」の修了者が集まって、公園内の花壇をきれいにすることを目的に平成20年に設立したボランティアです。自主参加、自主活動、無報酬をモットーに、安全第一で無理の無い活動を続けてい



ます。明るい色の花の配植により、見栄えのする花壇づくり
に心がけており、今後は自分達で育てた花苗を地域に広げて、
地域貢献にも取り組みたいと考えています。

講評

「寝屋川公園はなかずき」は、寝屋川市公園事務所が開催した「花の楽校」修了者27名で、平成20年から活動を開始されたボランティア組織である。寝屋川市東部丘陵地の緑を生かし多くの府民に利用されているスポーツ公園内の花壇で、日常管理、育苗をしている。公園入口から公園通路沿、プランター、地植えの花壇に花飾りがされ、季節ごとに来園者の目を楽しませている。

花壇の設置箇所が広範囲で、そのご努力に感心させられるが、間伐材等を利用したオーナメント制作と花飾り、立体的な花飾りのアイデアも求められ、さらに、時代を担う子供達の参加も検討していただきたい。
(審査委員 福原成雄)

大阪大学豊中キャンパス内での竹林を 接点とした共生活動(竹の会コラボ)

所在地:豊中市待兼山町
活動者 竹の会・大阪大学

柴原町自治会を中心とした竹の会のメンバーと周辺自治会の方々、大阪大学キャンパスデザイン室や施設部職員、そして地域の子ども会や学生が協力して、キャンパス内の竹林の間伐、清掃、タケノコ掘りなどを行っています。竹林は景観要素であるとともに、植生の多様性や地域との共生という点でも重要な環境資源であると考えています。今年の春のタケノコ掘

りでは、地域の子ども達や学生、教職員を含む100人以上が集まり、多くのタケノコが収穫できました。大学の共通教育授業での「地域を考えるワークショップ」から始まった活動を継続しつつ、更に活動・連携範囲を広げていきたいと考えています。

講評

本活動は大学キャンパス内の管理放棄された竹林の再生を接点とした地域との共生活動という先進的な事例である。平成19年度の共通教育の授業での「地域を考えるワークショップ」をきっかけに、キャンパス周辺自治会を中心とした「竹の会」のメンバーと学生や地域の子供会、大学キャンパスデザイン室および施設部職員等が参加しながら、竹林の間伐と清掃、タケノコ掘りを継続的にやっている。その結果、竹林が整序され、ランドスケープが大きく改善されるとともに地域とのきずなも強まりつつある。現状では林内活動は特定の活動日に限定されているが、今後、日常的に林内が解放され、学生の自主的な活動とともに地域との連携がさらに強まることが期待される。
(審査委員長 増田昇)



箕面森町 みどりの里づくり

所在地:箕面市森町
活動者 特定非営利法人与自然の森クラブ

私たちのクラブは、平成16年から里山の創生活動を始め、平成19年2月にNPO法人として認可されました。箕面森町の森林の里山化に向けて、間伐作業や作業道の整備などの森林作業から、農業、園芸、木工、里山体験など、地域や学校などの次世代を担う若者や子ども達と一緒に、「みどり」が中心となる楽しい魅力あるまちづくりを目的とした活動へと展開しています。また、里山散策や里山の資源を利用した催しを継

続的に実施し、森林整備で生み出された薪などを参加者が生活の中で利用する仕組みづくりも進めています。将来は里山での活動と住民の生活が密着した取り組みを目指しています。

講評

箕面市北部の山林を切り開いて造成された箕面森町。その名が物語るように、周囲をとりまく豊かな森といかに調和した生活環境やライフスタイルを育てていくかが、このまちの最大のポテンシャルであり、まちを持続可能なものにしていくために避けて通れぬ課題でもある。平成19年のまちびらきに合せて、特定非営利活動法人とどろみの森クラブが発足し、自然環境・地域・多世代共生のまちづくりの先導役となり、里山づくりを目指す森林整備、地域の方々との農業・園芸・木工など多彩な活動を展開している。担い手の多くは、北摂地域を中心に近隣の市町から集まり、高水準の技術と経験を持ち、開発の過程で行政が提供した拠点や設備が有効に活用されている。この先、開発事業が終了した後も、活動がまちに根を張り、創造的な里山の生活文化を築いていけるように、箕面森町の住民のいっそうの参画を得て、協働のモデルとなる歩みを進めていかれることを期待する。
(審査委員 弘本由香里)



パナホーム「つながりのひろば」

所在地:豊中市新千里西町

事業主 パナホーム(株)
設計者 株式会社 竹中工務店・株式会社 対馬造園店
施行者 株式会社 竹中工務店・株式会社 ナテックス

創業50周年記念事業として計画した「つながりのひろば」は、生物多様性への配慮と地域社会への貢献を目指す企業姿勢を形にしています。対象地は大阪府が推進するみどりの風促進区域内に位置しており、ひろばが生物多様性の拠点となることにより地域の生態系ネットワークの保全・回復を目指しています。植栽は千里の里山の再現に努め、ビオトープには千里生まれのメダカを放流して希少種の保存を目指しています。太陽光発電や風力発電の自然エネルギーを有効に利用する施設を設置し、防災ベンチと防災トイレを設けて災害時の帰宅困難者に対する防災セーフティエリアとなることにも配慮しています。



講評

本作品は、パナホーム株式会社の本社敷地に設けられている開放広場である。その特徴は、水とみどり豊かなランドスケープの創出にとどまらない。まず、広域的な視点でのみどりの風の道の形成に寄与しつつ、地域の生態ネットワークの保全やコミュニティの形成をはかる場としての役割を担い、加えて、太陽光発電や風力発電および中・高木のCO2吸収による低炭素化まちづくりにも貢献し、かつ設置された設備類は大規模災害発生時の事業継続、帰宅困難者支援にも貢献している。すなわち、次代のまちづくりに求められる多面的な機能が凝縮されているとともに、環境や緑をテーマにした地域と企業とのパートナーシップの先進的な試みとして高く評価できる。(審査委員 嘉名光市)

ガーデンプレイス鶴見

所在地:大阪市鶴見区今津南

事業主 山田善博
設計者 大西憲司設計工房
施行者 西友建設株式会社

下町に建つ、築40年の老朽化した木造2階建てアパートの建て替えプロジェクトです。周辺環境や建築コストを考えた上で、一戸建てのような街に優しい集合住宅を計画しました。建物を道路から2mセットバックさせて竹林をイメージした竹を植栽し、緑の少ない周辺環境に対して少しでも美しい街並みになるように配慮しています。アプローチに植えられたヤマボウシは道行く人の心を和ませ、中庭の木々や草花が四季折々の花を咲かせ、秋にはモミジの紅葉が季節の移ろいを感じさせてくれます。密集した都市の中で、緑や光などの自然を楽しみながら居心地良く暮らせる住まいを目指しています。

講評

本物件はJR駅から5.6分、商店街や病院などが混在する住宅密集地の一角にあります。生活の利便性は良いが、雑然とした取りとめの無い環境であり、道路を挟んで病院の病棟と救急搬入口や、高層マンションが建っています。

そのような環境の中で、音の問題やプライバシーにも配慮し、貴重な敷地から建物を2mセットバックさせて実現させた植栽計画。緑の少ない周辺環境が少しでも美しい街並みとなるよう配慮し工夫しているランドスケープは評価されることです。密集した街の中で、アプローチの植栽にも季節感があり、道行く人に潤いを提供しています。また、住人のプライバシーへの配慮には、道路面の開口を最小限に抑え、中庭に向かって大きく開放された開口部から、採光、通風、眺めを確保しています。中庭に一步入ると、緑の空間が広がり、住人の憩いの場の演出や、自然と共に心地よく暮らせる生活を、実現させている点も素晴らしい。築40年の老朽化した2階建アパート2棟を、斬新な改革とローコストで居心地の良い賃貸集合住宅に変身させたこと。2階建メゾネットタイプ5戸を外見からは1戸建ての様にしつつ、街に負荷を与えないことに配慮していることも、ランドスケープの理念に相応しい建築と云えます。

今後、このような街中にも周辺環境に配慮し、かつ営利至上主義では無い建築が、増えて行くことを大いに期待しています。(審査委員 二見恵美子)

募集対象

大阪府内における、みどりの景観づくり及び活動を募集し、府民、団体、企業、公共あらゆる方面からの応募が対象。

応募数

- 1. ランドスケープデザイン部門 17件
- 2. ランドスケープマネジメント部門 10件

スケジュール

募 集：平成25年 6月 1日（土）から7月31日（水）
 第一次審査：平成25年 8月29日（木）
 第二次審査：平成25年 9月25日（水）
 平成25年 10月26日（水）
 表 彰 式：平成25年 11月23日（土）

審査方法

賞の審査は、主催者が設置するみどりのまちづくり賞審査委員会により、応募書類による書類審査（第一次審査）、現地審査（第二次審査）により選考。

審査委員

- 審査委員長
 増田 昇 （大阪府立大学大学院生命環境科学研究科 教授）
- 審査委員
 嘉名 光市 （大阪市立大学大学院工学研究科都市系専攻 准教授）
 当内 匡 （(株)庭樹園 代表取締役）
 弘本 由香里（大阪ガス(株)エネルギー・文化研究所 特任研究員）
 福原 成雄 （大阪芸術大学環境デザイン科 教授）
 二見 恵美子（京都光華女子大学客員教授、ランドスケープアーキテクト）

過去の入賞作品



中之島公園(パラ園周辺部分)(大阪市)
 大阪府知事賞



ウエイズ上本町ローレルタワーのランドスケープ(大阪市)
 (社)ランドスケープコンサルタンツ協会
 関西支部長賞



サンマークスタッド(守口市)
 大阪府都市緑化フェア実行委員会長賞



シャレール東豊中(メタセコイアのある緑地部分)(豊中市)
 大阪府都市緑化フェア実行委員会長賞



からほり倶楽部-憩-長屋草屋根(大阪市)
 特別賞(審査委員長賞)



新川姫並と花を守る会(高槻市)
 大阪府知事賞



千里竹の会(豊中市)
 (財)国際花と緑の博覧会記念協会会長賞



中之町フラワーウェーブ(堺市)
 (社)ランドスケープコンサルタンツ協会
 関西支部長賞



みんなで育てよう花いっぱい島本町(三島郡)
 大阪府都市緑化フェア実行委員会長賞



パークシティ南千里丘(堺市)
 大阪府知事賞



プール学院中学校・高等学校(大阪市)
 (財)国際花と緑の博覧会記念協会会長賞



田島大阪ビル(大阪市)
 (一社)ランドスケープコンサルタンツ協会
 関西支部長賞



中之町フラワーウェーブ(堺市)
 大阪府知事賞



赤坂アジサイロード(堺市)
 (財)国際花と緑の博覧会記念協会会長賞



茨木交流倶楽部花咲かせ隊(茨木市)
 奨励賞



花と鳥の会いがき(交野市)
 奨励賞

後 援

大阪都市公園協議会／公益社団法人日本都市計画学会関西支部
公益社団法人日本造園学会関西支部／社団法人都市住宅学会関西支部/
一般社団法人日本造園修景協会阪奈和支部／一般社団法人日本造園建設業協会大阪府支部
一般社団法人日本造園組合連合会大阪府支部／阪神造園建設業協同組合
一般社団法人大阪造園業協会／社団法人大阪市造園業協会

OSAKA LANDSCAPE AWARD

大阪ランドスケープ賞 事務局

〒540-8570 大阪市中央区大手前二丁目一番二十二号
大阪府 都市整備部 公園課 計画グループ内
電話：06-6941-0351 FAX：06-6944-6796

